

帆走指示書 (SI)

大会名: 第76回国民体育大会(セーリング競技)

大会日付: 令和3年9月24日(木)計測~25日(金) 計測・トライアルレース

26日(土)~29日(水) レース

主催団体: 日本スポーツ協会、文部科学省、三重県、日本セーリング連盟、津市

開催地: 三重県津市(津市ヨットハーバー)

1. 規則

- 1.1 本大会は『2021-2024 セーリング競技規則』(以下『RRS』という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 RRS70.5 及び日本セーリング連盟規定 4.3 に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。
- 1.3 [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは RRS63.1、A5 及び A10 を変更している。
- 1.4 [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。
- 1.5 国体ウインドサーフィン級について、RRSB5 中の RRS61 の変更及び RRSB8 は適用しない。
- 1.6 参加資格に係る違反およびドーピング防止規則に対する違反の得点等の取り扱いについては、第76回国民体育大会実施要項総則 6(3)「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」による。

2. 帆走指示書の変更

- 2.1 帆走指示書(以下「SI」という。)の変更(レースエリアの変更を含む)は、それが発効する当日の当該種目の最初の予告信号の60分以前までに公式掲示板に掲示される。
- 2.2 レース日程の変更は、それが発効する前日の19:00までに公式掲示板に掲示される。

3. 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会 Web サイト <https://2021kokutai-mie-sailing.com> に設置された公式掲示板に掲示されるとともに、LINE のオープンチャットで通告される。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これは規則 60.1(b) を変更している。競技者は、オープンチャット(以下大会 LINE グループ)へ登録をしなければならない。
- 3.2 緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。ただし、レース委員会が用意するトラッキングシステムは含まない。

4. 行動規範

- 4.1 [DP]競技者及び支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4.2 [NP] [SP]競技者は、レース委員会により準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置に搭載しなければならない。
- 4.3 [NP] [SP]端末機器は、SI 18.3.1 で規定したチェックアウト申告時に指定の受取所で受け取ることができる。端末機器は、SI 18.3.1 で規定したチェックイン申告時に指定の受取所へ返却しなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発する信号は、運営棟 2 階南側に設置された掲揚ポールに掲揚する。また同時に、大会 LINE グループにて選手へ発信される。以下、陸上で発せられる信号には、大会 LINE グループでの発信も含まれる。

5.2 [DP][NP]音響 1 声と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、B海面についてはD 旗掲揚後20 分以降に、A海面は30分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

5.3 レース日程に示された個別のレースに対して、A P 旗は掲揚しない。予告信号予定時刻の 20 分前までに、D 旗が掲揚されない場合、そのレースの予告信号は時間の定めなく延期されている。

5.4 音響 1 声と共にピンク旗が陸上で掲揚された場合は、運営艇及び支援艇は艇を曳航できる。ピンク旗がAと記載された赤色旗の上に掲揚された場合はA海面、Bと記載された黄色旗の上に掲揚された場合はB海面のエリアのみとする。

6. レース日程

6.1 レースの日程は、以下のとおりとする。

月 日	予告信号	A 海面		予告信号	B 海面		
	予定時刻			予定時刻			
9 月 25 日 (土)	10:55	少年男子 4 2 0 級	トライアルレース	11:05	少年男子レーザーラジアル級	トライアルレース	
	11:02	少年女子 4 2 0 級	トライアルレース	11:12	少年女子レーザーラジアル級	トライアルレース	
	12:55	成年男子 4 7 0 級	トライアルレース	11:19	成年女子レーザーラジアル級	トライアルレース	
	13:02	成年女子 S S 級	トライアルレース	13:05	成年男子国体ウインドサーフィン級	トライアルレース	
	13:09	成年男子レーザー級	トライアルレース	13:12	成年女子国体ウインドサーフィン級	トライアルレース	
9 月 26 日 (日)	9:25	少年男子 4 2 0 級	第 1 レース	9:35	少年男子レーザーラジアル級	第 1 レース	
	9:32	少年女子 4 2 0 級	第 1 レース	9:42	少年女子レーザーラジアル級	第 1 レース	
	引続き	少年男子 4 2 0 級	第 2 レース	引続き	少年男子レーザーラジアル級	第 2 レース	
		少年女子 4 2 0 級	第 2 レース		少年女子レーザーラジアル級	第 2 レース	
	13:25	成年男子 4 7 0 級	第 1 レース	12:05	成年女子レーザーラジアル級	第 1 レース	
	13:32	成年女子 S S 級	第 1 レース		成年女子レーザーラジアル級	第 2 レース	
	13:39	成年男子レーザー級	第 1 レース	引続き	成年男子国体ウインドサーフィン級 成年女子国体ウインドサーフィン級 成年男子国体ウインドサーフィン級 成年女子国体ウインドサーフィン級	第 1 レース 第 1 レース 第 2 レース 第 2 レース	
	引続き	成年男子 4 7 0 級	第 2 レース				
成年女子 S S 級		第 2 レース					
成年男子レーザー級		第 2 レース					
9 月 27 日 (月)	9:25	成年男子 4 7 0 級	第 3 レース	9:35	成年女子レーザーラジアル級	第 3 レース	
	9:32	成年女子 S S 級	第 3 レース		成年女子レーザーラジアル級	第 4 レース	
	9:39	成年男子レーザー級	第 3 レース		引続き	少年男子レーザーラジアル級	第 3 レース
	引続き	成年男子 4 7 0 級	第 4 レース	少年女子レーザーラジアル級		第 3 レース	
		成年女子 S S 級	第 4 レース	引続き		少年男子レーザーラジアル級	第 4 レース
		成年男子レーザー級	第 4 レース			少年女子レーザーラジアル級	第 4 レース
	13:25	少年男子 4 2 0 級	第 3 レース	14:35	成年男子国体ウインドサーフィン級	第 3 レース	
13:32	少年女子 4 2 0 級	第 3 レース	14:42	成年女子国体ウインドサーフィン級	第 3 レース		

	引続き	少年男子420級 少年女子420級	第4レース 第4レース	引続き	成年男子国体ウインドサーフィン級 成年女子国体ウインドサーフィン級	第4レース 第4レース
9月28日 (火)	9:25	少年男子420級	第5レース	9:35	少年男子レーザーラジアル級	第5レース
	9:32	少年女子420級	第5レース	9:42	少年女子レーザーラジアル級	第5レース
	13:25	成年男子470級	第5レース	11:05	成年女子レーザーラジアル級	第5レース
	13:32	成年女子SS級	第5レース		成年女子レーザーラジアル級	第6レース
	13:39	成年男子レーザー級	第5レース	引続き		
	引続き		成年男子470級	第6レース	14:05	成年男子国体ウインドサーフィン級
成年女子SS級			第6レース	14:12	成年女子国体ウインドサーフィン級	第5レース
成年男子レーザー級			第6レース	引続き	成年男子国体ウインドサーフィン級 成年女子国体ウインドサーフィン級	第6レース 第6レース
9月29日 (水)	9:25	少年男子420級	第6レース	9:35	少年男子レーザーラジアル級	第6レース
	9:32	少年女子420級	第6レース	9:42	少年女子レーザーラジアル級	第6レース

6.1.1 各海面の引き続き行うレースは、その前のレースの各種目終了後、引き続き行う。

6.1.2 天候等の事情により、競技日程およびレース海面は、レース委員会において変更することがあり、その変更は SI4 に従って行われる。

6.2 1つのレースまたは一連のレースがまもなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

6.3 当該種目の1日に実施する最大レース数は4レースとする。

6.4 9月29日(水)には、11時00分より後に予告信号を発しない。

7. クラス旗

各種目のクラス旗は、以下のとおりとする。

種別・種目	クラス旗	旗色
成年男子		
470級	470級 クラス旗	白地に青記章
レーザー級	レーザー級 クラス旗	白地に赤記章
国体ウインドサーフィン級	国体ウインドサーフィン級 クラス旗	白地に青記章
成年女子		
セーリングスピリッツ級	セーリングスピリッツ級 クラス旗	白地に黒記章
レーザーラジアル級	レーザーラジアル級 クラス旗	ピンク地に赤記章
国体ウインドサーフィン級	国体ウインドサーフィン級 クラス旗	ピンク地に青記章
少年男子		
420級	420級 クラス旗	白地に緑記章
レーザーラジアル級	レーザーラジアル級 クラス旗	黄色地に赤記章

少年女子		
420級	420級 クラス旗	黄緑地に青記章
レーザーラジアル級	レーザーラジアル級 クラス旗	黄緑地に赤記章

8. レース・エリア

8.1 付属文書 A にレース・エリアの位置を示す。

8.2 レース・エリアが付属文書 A のとおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS62.1(a) を変更している。

9. コース

9.1 使用するコースは付属文書 B のコース図に示す I 2、O 2、L G 2、L R 2 とする。

9.2 付属文書 B の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.3 予告信号以前に、レース委員会の信号船に、帆走すべきコース及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10. マーク

マークは、次のとおりとする。

レースエリア	マーク 1, 2, 3s,3p, 4s,4p	新しいマーク	スタートマーク	フィニッシュマーク
A 海面	マーク 1、2、3S、3P4S、4P は黄色の円筒形	ピンク色の円筒形	レース委員会船	レース委員会船
B 海面	マーク 1、4S、4Pはオレンジ色の三角錐形	赤色の三角錐形	レース委員会船	レース委員会船

11. スタート

11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ色旗を掲揚したポールの間とする。

11.2 **[DP]** **[NP]**他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・ラインから概ね 50m以内のスタート・エリアを回避しなければならない。

11.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに DNS と記録される。これは RRS A5.1 と A5.2 を変更している。

11.4 RRS30.4 の「セール番号」を「県番号」に置き換える。

12. コースの次のレグの変更

RRS33 に基づきコースの次のレグを変更する場合、レース委員会は SI 9 に規定する新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、ブルー旗を掲揚したフィニッシュ・マーク上の旗をブルー旗を掲揚しているポールの間とする。

14. ペナルティー方式

14.1 RRS42 違反に対し、付則 P1 の「セール番号」を「県番号」に置き換え付則 P を適用する。

14.3 付則 T を適用する。「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは、RRSA10 を変更している。

15. タイム・リミットとターゲット・タイム

15.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムは、次のとおりとする。

種 目	レース・タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
470級	60分	25分	15分	40分
セーリングスピリッツ級	60分	25分	15分	40分
420級	60分	25分	15分	40分
レーザ級	60分	25分	15分	40分
レーザラジアル級	60分	25分	15分	40分
国体ウインドサーフィン級	30分	15分	10分	25分

15.2 RRS32.1 に加え、マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済の根拠とはならない。これは、RRS62.1(a)を変更している。

15.3 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインドウ内にフィニッシュしない艇は審問なしにDNFと記録される。この項はRRS35、A5.1、A5.2、A10を変更している。

15.4 ターゲットタイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。

16. 審問要求

16.1 抗議書は、大会 Web サイトからダウンロードできる。プロテスト委員会事務局でも入手できる。抗議及び救済または審問再開の要求は、適切な制限時間内にプロテスト委員会事務局に電子的な方法で提出しなければならない。この電子的提出方法は公式掲示板に掲示される。ただし、電子的に提出することが困難な場合には、プロテスト委員会事務局に持参して提出することが出来る。

16.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を大会 Web サイトに設置された公式掲示板に掲示する。審問は運営棟 3 階のプロテスト審問室および対象者にあらかじめ連絡された Web 審問にて大会 Web サイトに設置された公式掲示板に掲示した時刻に始められる。

16.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき艇に伝えるために大会 Web サイトに設置された公式掲示板に掲示する。

16.5 SI 14.1 に基づき RRS42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを大会 Web サイトに設置された公式掲示板に掲示する。

16.7 各クラス規則の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。

- 16.8 審問再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 00 分までの間に限り求めることができる。ただし、9 月 29 日（水）に判決を通告された場合には、判決を通告されてから 15 分以内とする。これは、RRS66 を変更している。
- 16.9 9 月 29 日（水）では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は判決の掲示から 15 分以内でなければならない。これは RRS62.2 を変更している。

17. 得点

- 17.1 本大会は各クラスとも 6 レースが予定され、それぞれ 1 レースの完了をもって成立する。
- 17.2 艇は、大会 Web サイトに設置された公式掲示板に掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、大会 Web サイトまたはレース委員会事務局入手できる「得点照会申請書」をレース委員会事務局に提出することで、得点及び成績の訂正を要請する事が出来る。
- 17.3 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とし、4 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 17.4 参加艇数とは、NoR 6(4)に示す艇数とする。なお、第 76 回国民体育大会実施要項総則 6(3)「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」による違反艇は、参加艇数から除外する。
- 17.5 各種目とも、上記得点方法に従い順位を決定し、下記の種目別の競技得点を与える。

470 級、セーリングスピリッツ級、420 級

順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点
1 位	24 点	2 位	21 点	3 位	18 点	4 位	15 点
5 位	12 点	6 位	9 点	7 位	6 点	8 位	3 点

レーザー級、レーザーラジアル級、国体ウインドサーフィン級

順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点
1 位	8 点	2 位	7 点	3 位	6 点	4 位	5 点
5 位	4 点	6 位	3 点	7 位	2 点	8 位	1 点

- 17.6 総合成績決定方法は、下記のとおりとする。
- 17.6.1 大会に参加した都道府県に参加得点 10 点を与える。
- 17.6.2 男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合得点（皇后杯得点）は、SI 15.5 の種目別の競技得点と参加得点（10 点）を合計し、その合計得点が多い都道府県を上位とし第 1 位から第 8 位を決定する。ただし、同点の場合は順位を共有し、その次の順位を欠位とする。なお得点は次の順位のを加え、当該都道府県で等分する。
- 17.7 参加資格違反およびドーピング規則違反が確定した艇は、順位を取り消され、違反艇より下位の艇の順位を繰り上げる。また参加艇数からも削除され、各レースの艇の順位および得点も変更する。

18. [NP] [DP]安全規定

- 18.1 [SP]全ての競技者、支援者は、大会実行委員会が定める健康チェックを実施し毎日 8:30 までに定められた方法により提出しなければならない。
- 18.2 本大会はチェックアウトチェックイン及び、DNC 報告、リタイア報告をオンラインで行う。
- 18.3 [SP] チェックアウトチェックインについて、レース委員会は、大会 LINEオープンチャットに各申請フォームを毎日投稿する。

- 18.3.1 レースに参加しようとする競技者及び支援艇は、その日の予告信号時間40分前までに「Check-outフォーム」から県番号を選択し、送信しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇及び支援艇は、その日の予告信号時間40分前までに「RET報告フォーム」から県番号を選択し、送信しなければならない。
- 18.3.2 帰着した艇の艇長及び支援艇は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に また、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分以内に「Check-inフォーム」から県番号を選択し、送信しなければならない。
- 18.3.3 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇又はプロテストボートにその旨を伝えること。また、帰着後速やかにSI19.3.1の「RET報告フォーム」から県番号をとリタイアレースを選択し、送信しなければならない。
- 18.3.4 一度ハーバーに帰着した艇（SI19.3.3）及び、SI19.3.1のRET報告の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者は「RET報告フォーム」から県番号と再出艇を選択し、送信しなければならない。
- 18.4 レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。
- 18.5 レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告および強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは RRS62.1(a)を変更している。

19. [DP] 装備の交換

損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会にテクニカル委員会ですり取り可能な用紙に記載の上、提出しなければならない。

20. [DP] 装備と計測のチェック

水上で艇またはボードはフィニッシュ後、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。陸上では、装備は、クラス規則と NoR に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

21. 運営船

21.1 運営船の識別旗は次のとおりである。

運 営 船	識 別 旗
競技委員会船	白地に赤字「V I P」
レース委員会船	白地に赤字「R C」
プロテスト委員会船	赤地に白字「P R O T E S T」
テクニカル委員会船	白地に赤字「M E A S U R E M E N T」
救助船	緑地に白字「R E S C U E」
報道船	白地に緑字「M E D I A」
警戒船	白地に赤字「警戒船」

22. 支援艇

22.1 支援艇は、レース委員会事務局あてに「支援艇許可申請書」を、9月24日（金）の9時00分から9月26日（日）の11時00分までに提出後、ピンク旗をレース委員会事務局で受け取ることにより、9月24日（金）から9月29日（水）まで使用できる。

- 22.2 支援艇は、出艇から帰着するまでの間、都道府県名を両サイドに明示のうえ、ピンク旗を明確に掲揚しなければならない。ピンク旗はレース委員会事務局で用意され、9月29日（水）までに返却しなければならない。
- 22.3 支援艇は、大会期間中、津ヨットハーバー内の指定場所に設置（係留）しなければならない。
- 22.4 支援艇は、SI 5.2 に規定するいずれの種目の「D旗」も掲揚されていない場合、支援艇もこれに従うものとする。
- 22.5 支援艇は、危険な状態にある艇からの救助要請により救助を行うか、レース委員会またはプロテスト委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発した後2分間までは、艇がレースをしているエリアの100m以上外側にいなければならない。
- 22.6 支援艇は、艇がレースをしているエリアの外側で競技者への飲食物、衣類およびごみの授受支援を行うことができる。ただし、レース委員会からの要請に基づく場合を除き、その他の物品の授受や、艇の曳航等の支援行為を行ってはならない。
- 22.7 レース委員会が海上でピンク旗を掲揚した場合、支援艇は危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。この場合、SI 22.6 のただし書き以下は適用されない。ピンク旗はレース・エリア毎に掲揚され、クラス旗の上に掲揚された場合は、その種目のみ適用される。

23. ゴミの処分

ごみは支援艇または運営船に渡してもよい。

24. 賞

- 24.1 男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に賞状を授与する。
- 24.2 男女総合成績第1位の都道府県に大会会長トロフィーを授与する。
- 24.3 各種目の第1位から第8位までに賞状を授与する

25. リスク・テートメント

RRS3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング。スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な障害、死亡のリスクである。

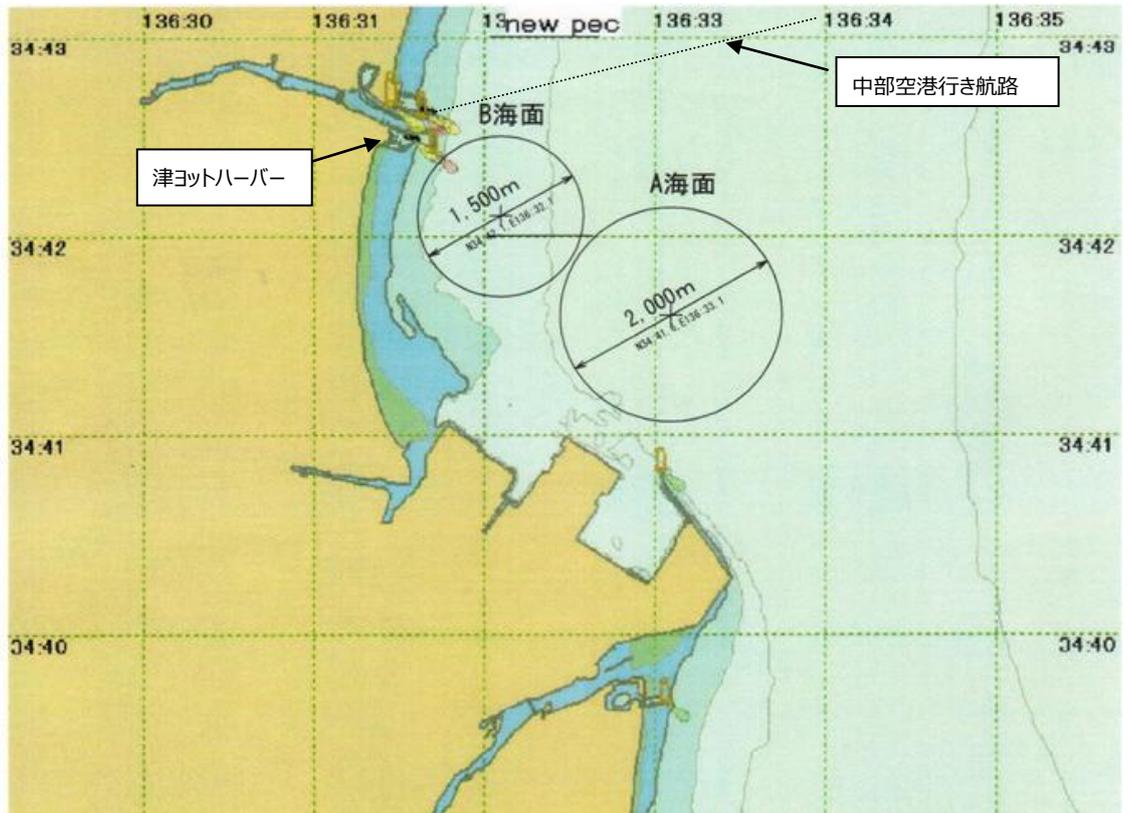
26. 肖像権

選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

27. 規則違反によって生じた損害の補償

主催団体は、規則等に違反した艇の乗員に対して、その規則違反によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、競技委員会の査定に従うものとする。

付属文書 A レース・エリア



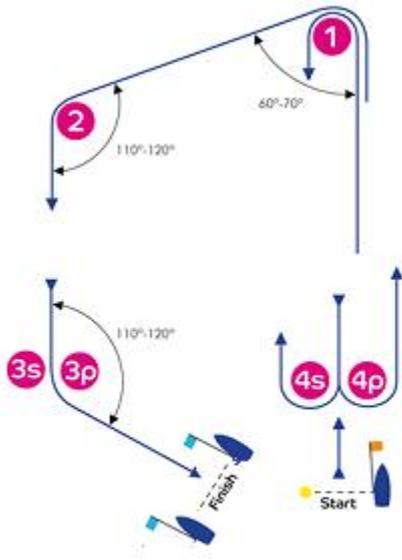
A海面、B海面は重ならない範囲で、天候等の事情を勘案し、津ヨットハーバー南東方面に設定する。

B海面は、フィニッシュラインを津ヨットハーバーに近い場所に設置する場合がある。

津ヨットハーバーとA海面間の移動にあたっては、B海面を横切らないよう、海岸方面に沿って移動する。

付属文書 B コース図

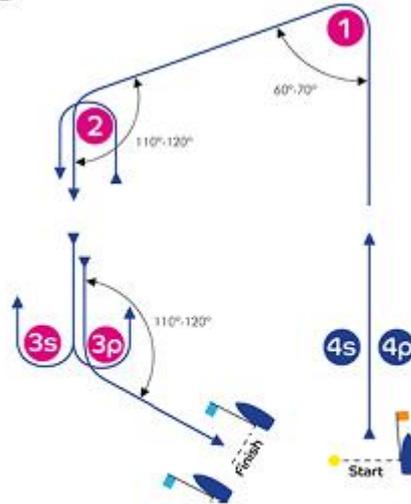
I



Course: Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish

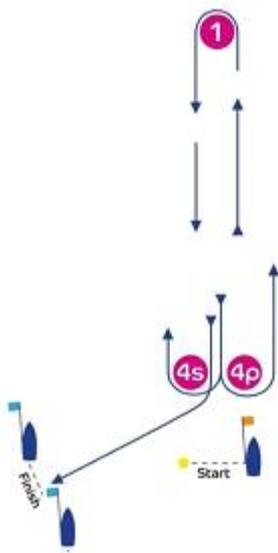
O



Course: Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O3	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O4	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish

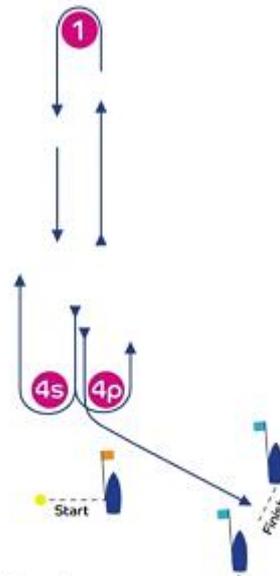
LG



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LG2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish

LR



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish

■リンク先

◇ 大会 WEB サイトのリンク URL と QR コード

<https://2021kokutai-mie-sailing.com>



以下の、報告方法、書式などについては大会 Web サイトでの「公式掲示」や「申請書式」コンテンツなどに競技開始日までに順次掲載、リンクします。

- ・ 健康チェックシート、毎日の健康チェック報告
- ・ 抗議書の記入、報告
- ・ その他 プログラムの訂正報告など大会で使用する各種申請書式

SI に関する質問

SI に関する事前の質問は、令和 3 年 8 月 31 日（土）までは文書で受け付ける。

質問の送り先は、次のとおりとする。それ以降は、大会期間中に「プロテスト委員会事務局」に提出することができる。

質問についての回答は大会会場の公式掲示板に掲示される。

<送付先> 公益財団法人日本セーリング連盟

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9 階 902 号室

電話 03 (6447) 4881

FAX 03 (6447) 4882

Email jimukyoku@jsaf.or.jp